

あしもと通信 93

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

<http://www.sokuon-net.org> info@sokuon-net.org

2019.11.10

●コンテンツ

巻頭言 あきれた災害便乗デマゴギー「ハツ場ダム」も「スーパー堤防」も役に立たない／エネカフェ第3弾、PV 自立運転モードをまなぶ／気候危機に集まった色んな世代～グローバル気候マーチ／区議会公明党が太陽光発電の適切導入を求める意見書を発議／足温ネットとつながるヒト・モノ・トコロ（第5回）寿光院／えど・そら便り／環境・エネルギー8行ニュース／みんな電力 顔の見える発電所ツアー／足温ネット活動日誌／編集後記

●巻頭言

あきれた災害便乗デマゴギー

—「ハツ場ダム」も「スーパー堤防」も役に立たない

日本列島を直撃する台風の大型化はまさしく温暖化による気候変動であり、今後毎年のように規模の大きな暴風雨が日本列島を襲うと思われます。10月12日から13日にかけて日本列島に上陸した台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災者の救援と被災地の復興を心より願うものです。25日には、台風21号の影響で記録的な豪雨となりました。千葉県と福島県で河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、この原稿を書いている26日13時現在、10人の犠牲者、3人の行方不明者という報道に心が震えています。

ひとたび豪雨に襲われれば、河川氾濫、土砂災害、内水氾濫と脆弱な土地に被害が起こる日本列島。自然の猛威に対する水害対策には冷静な判断と英知が何より求められます。

* * *

ところが、今回の台風被害に便乗してネット上で「大惨事を防いだハツ場ダム」だの「スーパー堤防が氾濫を防いだ」だの、旧民主党たたきも相まってとんでもない勘違い情報が飛び交いました。

10月6日の参議院予算委員会では、こともあろうに国土交通大臣が「試験湛水中のハツ場ダムが利根川の氾濫を防ぐのに役立った」と答弁し、愚かな認識を露呈しました。また、江戸川区では、日本維新の会の元衆議院議員が北小岩1丁目の18班地区（スーパー堤防事業に

より住民が立ち退いた場所）のおかげで江戸川区は水害から免れたとツイッターやフェイスブックに投稿し、自民党の衆議院議員は地域まつりの挨拶の中で、「民主党政権時代に廃止したハツ場ダムを自民党が再開し完成したから水害を止められた」という話をしたとか…。加えてその自民党の国会議員は、スーパー堤防がこれまでの堤防より高い堤防になると思っていたご様子。政治の中枢にいる人たちの無責任な言動には開いた口がふさがりません。何より区民に嘘をつく無知なデマゴギーを流した罪は重いと考えます。

* * *

さすがにハツ場ダムに関するデマについては、何人かの有識者がすぐに反論のレポートを出しました。中でも「水源開発問題全国連絡会」共同代表の嶋津暉之氏は、国交省のデータに基づく検証レポートを配信してくれました。

それによると台風19号による利根川の栗橋観測所の最高水位は13日午前3時すぎに9.67㍍を記録。栗橋地点の最近8年間の水位流量データから今回の最大流量を推測し、その数値をもとにハツ場ダムがなかった場合の水位は9.84㍍で17㍍高くなると計算し、利根川本川の堤防の余裕高は2㍍あり、計画高水位9.90㍍に迫る数値ではあったが利根川中流部が氾濫する状況ではなかったとしています。そして計画高水位近くまで上昇した理由の一つとして、利根

川中流部の河床が土砂によって埋まり「流下能力」が低下している問題を挙げ、河川整備計画に沿った河床面を維持するための河床掘削作業が適宜実施されていれば、今回の洪水ピーク水位は70㍍低度下がっていたと推測しています。詳しくは朝日新聞の「論座」に掲載していますのでご参照ください。

(<https://webronza.asahi.com/national/articles/2019102100008.html?page=1>)

一方、無駄な公共事業の代表格であるスーパー堤防ですが、堤防の幅を広くするだけで高さは既存のものと同じではありません。越水への特別な効果は何もないのです。完成までに何百年もかかり莫大な税金が使われる「亡霊的公共事業」と言えましょう。早く中止にしたいものです。スーパー堤防の情報に関しては私の敬愛する榎田秀樹氏のレポートをご紹介します。

(<https://hbol.jp/199173>)

台風19号から首都圏を洪水から守ったのは、遊水地や調整池、首都圏外郭放水路や地道な各河川の堤防強化対策でした。嶋津氏のレポートにもありましたが河床に溜まった土砂を定期的に掘削する作業も大切です。度重なる水害から命を守るために、早急に河川の整備と管理、森林保全の推進に大切な税金が使われるよう働きかけましょう。本当に喫緊の問題です。

(文責:奈良由貴 代表理事)

● 低炭素・脱原発の社会をめざして

エネカフェ第3弾

PV自立運転モードをまなぶ

昨年9月、北海道胆振東部地震で火力発電所が停止し、北海道全域が停電となるブラックアウトが発生しました。そんな時に、役立つのが太陽光発電の自立運転モードです。そこで、足温ネットが運営している太陽光発電設備で実際に自立運転モードへ切り替えてみようということで、エネルギーカフェ第3弾を開催しました。参加した運営委員の遠藤さんから報告してもらいます。

* * *

2019年4月より会員および、運営委員になりました遠藤尚志(たかし)と申します。

10月6日、市民発電所「えど・そら」2号機のある高齢者の共同住宅ほっと館で、今年3回目となるエネルギーカフェに参加してきました。

今回のテーマは「太陽光発電の自立運転機能を練習してみよう」。台風15号による千葉県の「長期停電」の記憶も冷めやらぬ中での開催ということもあり、メディア(朝日新聞、しんぶん赤旗)を含む15名の参加となり、江戸川区在住のご近所のかたも多く参加されました。

停電状態であっても太陽光発電は日さえ当たれば発電しています。そして、パワーコンディショナーを自立運転モードにすると、発電した電気をそのまま使うことができます。

しかし熊本地震後に、PV-NET(NPO法人太陽光発電所ネットワーク)が行った調査によれば、太陽光を屋根に乗せている家でも、意外とこの「自立運転モード」が知られていなく、かつ使い方がわかっていなく、実際にはあまり使われなかったという調査もありました。

非常時にスムーズに動かすためには、平時にまずは練習してみよう！ということで、この日はほっと館にある2つの発電所について、自立運転モードに切り替えてコンセントから電気が取れることを、皆で体験学習しました。



(左上から時計回りに)自立運転モードに切り替えるパワーコンディショナー／側面にある非常用コンセント／自立運転モードへの切り替え手順を示したカード

少し個人的な話をさせていただきますと、私は現在、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)というところで働いています。使い終わったたぐら油を再利用して「BDF(バイオディーゼル燃料)」という環境に優しい燃料をつくる仕事です。実はその仕事場のプラントがあるのは、千葉県芝山町。台風15号により、プラントもなんと2週間の停電となってしまいました。

正直に告白すると、今回の台風15号がくるまで、恥ずかしい限りですが、千葉や東京に住む自分自身はどこか大丈夫だろうと鷹をくくっていました。「災害というもの」をどこか他人事に考えていたのだと思います。そして非常時に試されるのは、平時(日常)の実力。平時(日常)に準備しないと、非常時はなにもできない！

今回の台風は、改めて日常から防災や減災にも資するエネルギーの自給分散化をもっともっと進めなければと、強く実感する機会となりましたし、個人的にも、組織でも積極的に取り組もうと決心しています。

「自立運転機能」については、地域の

方に非常時にどんどん使ってもらうために、今後自治会等の避難訓練と組み合わせることで、より多くの地域の方にこの使い方を知ってもらうような、エネルギーも組み込んだ「新たな防災訓練」や「ハザードマップづくり」を市民の力で進める必要があると感じています。

また、今後例えば「蓄電池」を組み合わせることで、夜でも灯りやお湯が沸かせ、シャワーが浴びられるようなモデルも検討が必要と感じています。

(私の周囲の被災された方たちは、長引く停電で一番しんどいのは、「暖かいお湯」にあたれないこと！と言っていました。これにより、疲れがほんとにとれませんでした。)

(文責:遠藤尚志 運営委員)

気候危機に 集まった 色々な世代

～グローバル気候マーチ



9月20日夕刻、私は渋谷区青山にある国連大学の前に来ました。全世界で取り組まれる「グローバル気候マーチ」に参加するためです。当日の午前中まで私は行こうかどうしようか迷っていました。「別に私一人が行っても仕方ないし」と思っていましたし、行っても一部の運動家やNGOスタッフしか集まらない、広がりがないデモ行進ならつまらないとも思っていました。しかし、午後それほど仕事が忙しくないと分かったので休暇を申請しました。

この気候マーチは、23日から国連で開催される気候サミットに合わせ、気候危機に対する対応を政治的指導者に求める目的でNGOによって呼びかけられたものです。

●きっかけは一人の高校生

きっかけは、スウェーデンの高校生、グレタ・トゥーンベリさんが始めた「金曜ストライキ」です。8歳から気候変動問題について学んだトゥーンベリさんは、気候危機への対応を求めるため、金曜日に学校を休み国会前で座り込みを始めました。「自分たちの未来のために学校を休んで訴えよう」との声に同調する動きがヨーロッパを中心に瞬間に広がっていったのです。

出発時刻である17時30分が近づくと、次々に参加者が集まってきました。驚いたのは、その年齢層です。親子連れや制服姿の高校生、子どもたちのグループと若い世代が目立ちます。それぞれ、「SAVE THE WORLD」と書かれた手製のプラカードや「Let's Save our earth」と書かれた横断幕を持ったり、フェイスペインティングをしたりと、思い

思いの方法で訴えていました。また、英語でも呼びかけられたせいか、外国籍と思しき人たちも見受けられます。そして、17時30分には参加者で広場はいっぱいになりました。

そして17時30分過ぎ、先頭で大きな歓声が上がりました。マーチの出発です。マーチは1列5人で隊列を組むため、最後尾にいる私たちはなかなか出発しません。結局、1時間近く経ってから広場を出発できました。

この日の参加者は2,800人！主催者の当初見込み800人を大きく上回りました。通常のデモ行進のような労組など団体の旗は出さず、政党や団体の宣伝カーも名前の上にポスターを貼って、そうした色を打ち消し、コールも一方的に相手を非難する内容ではなく「地球を守れ」というものでした。そんな様子から、私は「市民のマーチ」という印象を受けました。そして参加者は、表参道～原宿駅～渋谷駅～宮益坂、そして国連大学に戻ってくるコースを歩き、流れ解散となりました。

●経済発展はおとぎ話！

23日、トゥーンベリさんは国連主催の若者気候サミットに登壇しました。飛行機ではなく、ヨットで大西洋を渡って。そして、そこで語られた内容はSNS等で拡散されメディアにも取り上げられました。その一部を紹介しましょう。

◇「私は今、この壇上にいるべきではありません。私は海の向こうで学校に行っているべきです。それなのに、あなたたちは私に希望を求めてここにきたのですか？よくそんなことができますね！」

◇「多くの人たちが苦しんでいます。多くの人たちが死んでいます。全ての生態系が破壊されています。私たちは大量絶滅の始まりにいます。それなのにあなたたちが話しているのは、お金のことと、経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしくないのでしょうか！」

◇「あなたたちは、私たちを失望させている。しかし、若い世代はあなたたちの裏切りに気づき始めています。未来の世代の目は、あなたたちに向けられている。私たちはこのまま、あなたたちを見逃すわけにはいかない。今この場所、この時点で一線を引きます。世界は目覚め始めています。変化が訪れようとしています。あなたたちが望もうが望ままいが」

●もっと声を大きくしよう

未来世代として国連に集まった政治指導者たちを糾弾するトゥーンベリさんのメッセージに対して批判的な反応が見られますが、それは私たち大人の怠慢の裏返しです。グローバル気候マーチの参加者は全世界で400万人にもなりました。カナダではトルドー首相がマーチに参加したそうです。しかし、日本の政治的指導者にマーチ参加者の訴えは伝わったでしょうか？日本政府は、パリ協定に基づく目標達成に向けた気候変動対策の見直しに着手していません。

また、私が知る限り、気候マーチに参加したのは国会議員1名(日本共産党)と都議会議員1名(東京・生活者ネットワーク)だけです。若者に広がり始めた「地球を守れ」の声をもっともっと大きくしなければならぬと感じました。

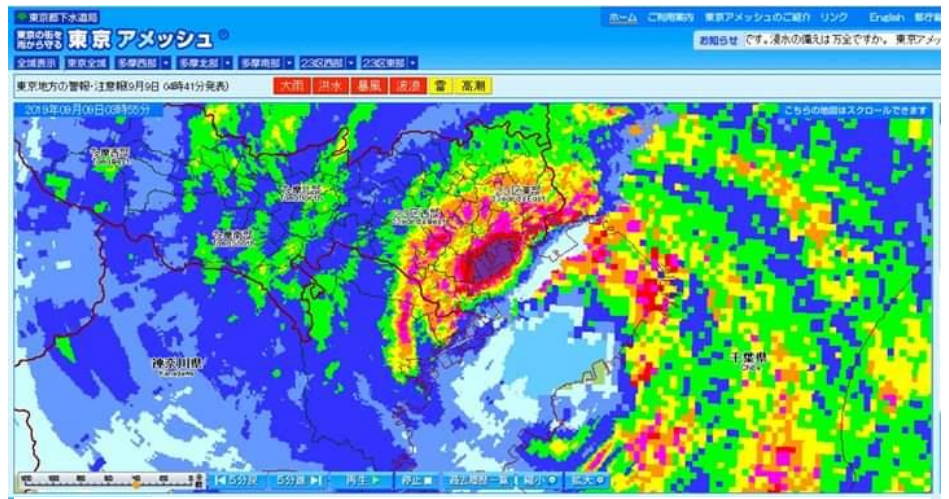
●気候非常事態宣言

一方世界の自治体では、世界的に深刻化する気候変動への取り組みを強化しようと「気候非常事態宣言」を行う動きが広がっています。この宣言は2016年12月にオーストラリア・デアビン市が初めて行い、ロンドンやパリ、ニューヨークなど各地に広がっています。

日本でも9月25日に長崎県壱岐市が「気候非常事態宣言」を行いました。壱岐市によると、宣言を行った自治体は国内では初めてだそうです。市議会で可決された同宣言に関する議案では、地球の温暖化によって猛暑や集中豪雨などが発生し、市内でも災害や水不足、藻場の減少で基幹産業の漁業に深刻な影響が出ていると指摘。そして、2050年までに再生可能エネルギーに完全移行し、二酸化炭素の排出量をゼロにすることやごみの排出抑制・再生を促進すること明記しています。

また壱岐市に続き、神奈川県鎌倉市議会も10月4日、気候非常事態宣言を決議しました。市議会では、①気候危機が迫っている実態を全力で市民に周知する、②温室効果ガスのゼロエミッションを達成することを目標とする、③気候変動の「緩和」と「適応」、「エシカル消費」の推進策を立案、実施する、④各行政機関・関係諸団体等と連携した取り組みを市民とともに広げる、の4つのアクションを鎌倉市に対して要請しています。

●東京でも請願署名始まる



台風 19 号が千葉県に上陸する直前の様子(9/9)。東京湾にある台風の様子ははっきり分かる

東京でも気候非常事態宣言を自治体に求める動きが出てきました。グローバル気候マーチを主導した「Fridays for Future Tokyo」(代表:井上寛人氏)が気候変動に対する非常事態宣言を求める請願を都議会に提出しました。

それによると、東京都による「2050年 CO2 排出量実質ゼロ目標」宣言を、国に先んじて気候変動の影響の甚大さを認識し、政策に反映する試みの端緒であるとして評価する一方で、冊子「環境先進都市・東京に向けて～CREATING A SUSTAINABLE CITY～」の中の数値は、2030年に2000年比で30%削減に留まっており、2050年 CO2 排出量ゼロを見据えた目標に合致しているとは言い難く、現在の数値目標を見直し科学的見地に基づいた、段階的かつ具体的な目標提示が求められるとしています。

東京新聞10月4日付「こちら特報部」では、壱岐市が宣言を行ったことを取り上げた中で、宣言の可能性について東京都環境局地球環境エネルギー部の課長を取材しています。それによると、既に掲げた 2050 年 CO2 排出量実質ゼロ目標は宣言と内容的に同じであり、宣言の予定はないと伝えていました。

「Fridays for Future Tokyo」では請願署名を集め始めました。たくさんの署名が集まることで、都議会や都知事の判断を促せたらと思う次第です。地球を守るためにも、そしてトゥーンベリさんのような若い世代から指弾されないためにも。

(文責:山崎求博 事務局長)

区議会公明党が太陽光発電の適切導入を求める意見書を発議

江戸川区議会の公明党は○月○日、「太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書(案)」を発議した。宛先は、経済産業大臣と環境大臣宛。防災、景観、環境面での地域住民の不安やFIT買取期間終了後の太陽光発電パネル放置といった懸念を払しょくしつつ、地域と共生する形での再生可能エネルギー導入促進の観点から適切な導入を要望している。

- (1)一定規模以上の案件について、発電事業者へ地域住民への事前説明の義務づけ、その手続きの明確化に向けた必要な取り組みの実施
- (2)斜面崩落を誘発しないよう、斜面設置にかかる技術基準の早急な見直し
- (3)適正な処分が確実な実施に向けた、発電事業者による廃棄費用の積立て、リサイクルの確立に向けた取り組みの推進

【公明党】

経済産業大臣 世耕 弘成 殿
環境大臣 原田 義明 殿

太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書(案)

パリ協定の枠組みの下、脱炭素社会の構築が求められる中、環境負荷の削減やエネルギー安全保障等の観点から、太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーの導入拡大が必要とされている。

こうした中、再生可能エネルギー特別措置法に基づく固定価格買取制度(FIT)の施行以降、導入量が着実に増加してきている一方、一部の地域では、防災、景観、環境面での地域住民の不安や、FIT買取期間終了後に太陽光パネルが放置されるのではないかとの懸念が生じている。

今後、こうした不安や懸念を払拭しつつ、地域と共生する形で再生可能エネルギーの導入を更に促進する観点から、太陽光発電の適切な導入に向けて下記の通り要望する。

記

1. 再生可能エネルギー特別措置法に基づく事業計画の認定に当たり、一定規模以上の案件については地域住民への事前説明を発電事業者に着務付るとともに、その具体的な手続きを事業計画認定ガイドラインに明記するなど、地域住民との関係構築のために必要な取組を行うこと。
2. 太陽光発電設備が災害時に斜面崩落を誘発することのないよう、急傾斜地以外の斜面に設置される場合も含め、太陽光発電設備の斜面設置に係る技術基準の見直しを早急に行うこと。
3. 発電事業者終了後に太陽光発電設備の撤去及び適正な処分が確実に行われるよう、発電事業者による廃棄費用の積立ての仕組みや、回収された太陽光パネルのリサイクルの仕組みの確立に向けた取組を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年 月 日

区議会公明党が太陽光発電の適切導入を求める意見書を発議

江戸川区議会の公明党は○月○日、「太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書(案)」を発議した。宛先は、経済産業大臣と環境大臣宛。防災、景観、環境面での地域住民の不安やFIT買取期間終了後の太陽光発電パネル放置といった懸念を払しょくしつつ、地域と共生する形での再生可能エネルギー導入促進の観点から適切な導入を要望している。

- (1)一定規模以上の案件について、発電事業者へ地域住民への事前説明の義務づけ、その手続きの明確化に向けた必要な取り組みの実施
- (2)斜面崩落を誘発しないよう、斜面設置にかかる技術基準の早急な見直し
- (3)適正な処分が確実な実施に向けた、発電事業者による廃棄費用の積立て、リサイクルの確立に向けた取り組みの推進

● 足温ネットとつながるヒト・モノ・トコロ（第5回）

公でもない私でもない共の場を 西方山 無量教寺 寿光院

足温ネットの活動は、様々な人や団体、場所に支えられています。そこで、そうしたヒト・モノ・トコロを自己紹介していただきます。第5回は、江戸川区内にある「寿光院」です。

住職の大河内さんは足温ネット設立時からのメンバーで、足温ネットの活動基盤、いや江戸川区の市民活動の基盤を担っています。市民立発電所の建設にお寺の屋根を貸してくれ、「えど・そら」発電所が立地する場所の所有者であり、事務所のある小松川市民ファームがあるマンションの部屋もそうです。まさに、住職無くして活動無し、と言えます。

それでは、大河内さんに寿光院について紹介していただきましょう。

* * *

寿光院は阿弥陀如来による48の誓願が成就された極楽世界をめざす浄土宗の寺院です。

その48の願いとは今の表現にすれば、差別、貧困、紛争、収奪、不当な支配等の苦しみからの解放であり、遥かな理想の社会を築く意志を持ち、あきらめることなく前向きに生きることが寿光院の信条です。

私が大学を卒業して仏門に入った1980年は、インドシナ難民が大量に発生した時期だったことをきっかけに難民救援、国際協力の活動に関わることとなり、土地との等価交換で取得した船堀街道沿いの2階の事務所をNGOの拠点として提供しました。一方、タイやカンボジアの農村やスラムなどでの活動は、民主的な仕組みの中で自立する社会をめざす

ものでした。そしてその担い手はまさに、援助者でも行政でもなく、住民が主体となるNGOです。

翻って、自分自身は日本で地に足を付けた責任ある市民として生きているか。そんな問いかけをしていた時に、足温ネット結成のもとになった、環境や平和の問題に取り組む「グループ KIKI」に出会い、そこから様々な江戸川の活動者たちにつながりました。そしてテーマは異にしても、市民社会の実現という理念を共有する人々、団体をつなげる場づくりとして、「小松川市民ファーム」を開設しました。

社会課題を真摯に受け止め、現場から、当事者として、あるいは伴走者として、よりよい社会を実現するために地道な活動を積み上げるアプローチは、お釈迦さまが覚りを開いて最初に説法した、苦しみに正面から向き合い、その原因を理性的に解明し、理想のヴィジョンに向かって、正しい道を歩むという「真理の4段階」を体現しています。寺院として、市民のそういう願いを応援する使命があると確信しました。

* * *

寺院は、過去の教訓に学び、未来を見据えて、現代に生きる人間として責任を果たす人々が、国家や行政に支配されず、私利私欲でもない、人々のコミュニティに支えられて成り立っています。そういう正しい願いを持つ人々の有形無形の資産であるべきと考えます。「公」でも「私」でもない「共」の社会資本として成り立っています。



寿光院としては現在、「小松川市民ファーム」や「足温ネット」の市民立発電所をはじめ、高齢者の住まい「ほっと館」、「江戸川子どもおんぶず」の活動拠点「松江の家」、障害者グループホーム「あみたハウス」、児童デイサービス「ばんびーの」などに場を提供させていただいています。それらの活動を通して社会課題に向き合い、志ある方々と共に歩み、未来を紡いでいきたいと思えます。

(文責:大河内秀人さん)



●寿光院

寿光院は浄土宗の寺院で、元和3年(1617年)鏡誉輪岡上人(寛文元年1662年寂)が開山となり、もとは智恩院の末であった。創建当初は芝高輪にあったが、第二世の代に現在地に移転した。昭和二十年の戦災で一切を焼失したが、本尊仏は辛うじて持ち出し現在も安置されている。(「江戸川区史」より)

・住所:江戸川区東小松川 2-5-12

・本尊:阿弥陀如来像

●住職・大河内秀人の徒然ぐさり <https://angel.ap.teacup.com/hitococi/>

えど・そら 便り

足温ネットでは、2013年から太陽光発電による電力を固定価格で電力会社に供給する売電事業に参入しました。愛称は「えど・そら」と言い、1号機は10.52kW、2号機は11.58kW、3号機は22kWの発電出力です。その発電事業などについて報告します。

●これまでの発電実績

2019年3回目のえど・そら便りです。今回は1号、2号、3号機の2019年8月までの実績について報告します。

発電状況です。上表に8月までの月平均1日当たり発電量を示します。7月は1号2号3号ともに予測と比べ大幅に低くなっており、昨年7月の半分程度に止まりました。昨年は空梅雨気味だったのに対して、今年の梅雨はしつこく続いたためと思われます。8月は昨年より良い結果になっています。思い出してみると、今年の8月は旧盆辺りまでずっと酷暑が続きました。

図は1～3号機各々の積算売電金額(経費等を除く)を表しています。1号は6年5か月で約325万円、2号は6年2か月で約408万円、3号は2年9か月で約250万円、合計すると凡そ984万

	1日当たり発電量 kWh/日					
	えどそら1号		えどそら2号		えどそら3号	
	予測	実績	予測	実績	予測	実績
2018年7月	39.0	39.3	38.0	57.2	109.2	147.9
2018年8月	42.6	38.3	42.3	48.5	119.4	122.3
2018年9月	31.3	34.1	32.7	38.5	87.5	95.0
2018年10月	25.2	21.6	27.3	31.0	70.5	69.1
2018年11月	23.2	27.5	26.4	35.2	64.9	71.4
2018年12月	24.3	20.3	29.5	28.3	67.9	53.0
2019年1月	27.0	26.7	32.2	43.4	74.8	74.8
2019年2月	29.5	27.1	33.9	38.0	82.7	81.0
2019年3月	32.5	34.6	34.4	43.2	90.0	99.2
2019年4月	38.0	40.3	39.2	52.3	106.5	122.5
2019年5月	42.6	38.5	42.9	51.1	119.4	126.7
2019年6月	35.4	35.3	34.3	45.1	99.1	117.1
2019年7月	39.0	22.2	38.0	28.4	109.2	74.8
2019年8月	42.6	39.5	42.3	51.4	119.4	133.7

円となっています。

昨年は台風24号により「えど・そら3号」に被害が出ましたが、今年の台風15号、19号による被害は幸いありませんでした。しかしながら両台風は東日本においてこれまで経験していない風と雨により各地に大きな被害をもたらしました。残念ながら、気候変動によって今後増々酷くなるとされる気象被害に備えていかねばなりませんね。

(文責:柳澤一郎 理事)

●練馬元気力発電所が来訪

7月11日午前、練馬区でリユースショップを展開する「環境まちづくりNPO元気力発電所」のメンバーが足温ネットを来訪しました。目的はオフグリッドハウス松江の家です。

元気力発電所では、練馬区にエネルギー問題の解決策を発信する環境ステーションの建設を計画しており、ぜひ自

然エネルギーだけで電力をまかないたいということで、オフグリッドハウスの実態を見に来られました。

奈良代表から松江の家の概要説明、柳澤理事からオフグリッドシステム(太陽光パネル+バッテリー)の解説が行われた後で意見交換を行いました。皆さん、発電出力に比してバッテリーが大きいことに驚かれた様子で、こちらからは、実際に使う電力量に応じて、必要な太陽光パネルとバッテリーを計算する必要があるとお話しさせていただきました。練馬区で素晴らしい環境ステーションができることを願っています。

(文責:山崎求博 事務局長)

表1 えどそら1号実績

	発電量kWh		売電額	
	予測	実績	予測	実績
2019年4月	1,141	1,249	47,922	54,631
2019年5月	1,322	1,155	55,524	50,519
2019年6月	1,062	1,093	44,604	47,807
2019年7月	1,209	667	50,778	29,174
2019年8月	1,322	1,225	55,524	53,581
2019年9月	938	932	39,396	40,765
2019年10月	781		32,802	
2019年11月	695		29,190	
2019年12月	752		31,584	
2020年1月	828		34,776	
2020年2月	827		34,734	
2020年3月	996		41,832	
合計	11,873	6,321	498,666	276,477

表2 えどそら2号実績

	発電量kWh		売電額	
	予測	実績	予測	実績
	1,177	1,620	49,434	70,858
	1,331	1,533	55,902	67,053
	1,030	1,398	43,260	61,148
	1,177	851	49,434	37,222
	1,311	1,592	55,062	69,634
	981	1,208	41,202	52,837
	846		35,532	
	792		33,264	
	913		38,346	
	999		41,958	
	948		39,816	
	1,066		44,772	
合計	12,571	8,202	527,982	358,752

表3 えどそら3号実績

	発電量kWh		売電額	
	予測	実績	予測	実績
	3,195	3,797	83,065	100,468
	3,702	3,800	96,242	100,548
	2,974	3,630	77,314	96,049
	3,385	2,245	88,015	59,402
	3,702	4,146	96,242	109,703
	2,626	3,017	68,286	79,829
	2,187		56,857	
	1,946		50,596	
	2,106		54,746	
	2,318		60,278	
	2,316		60,206	
	2,789		72,509	
合計	33,246	20,635	864,356	545,999

環境・エネルギー 8行ニュース

※報道記事を抜粋したものです

●IPCC、温室ガス把握で新指針

(2019.5.13 東京新聞)

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は13日、地球温暖化を招く温室効果ガスの排出量をより正確に算定するための新たなガイドラインを発表した。新たな項目として、燃料電池などに使われる水素の製造による排出量の算定方法を追加。石炭や天然ガスの採掘、貯蔵、輸送に伴い二酸化炭素やメタンが大気中に漏れ出す量の推計手法を見直した。

●ドイツ、50年にCO2実質ゼロ

(2019.5.15 日経新聞)

ドイツのメルケル首相は14日、ベルリンで開いた国際環境会議で、2050年までにCO2の排出量を実質ゼロにするための議論を始めると表明。CO2削減に積極的な取り組みを求める若者のデモが各地で続き、緑の党が支持率で第2党に躍り出るなど、世論の圧力も強まっている。欧州議会選挙に向けて、前向きな姿勢をアピールする狙いもあるとみられる。

●損保大手、自然災害で1.6兆円支払い

(2019.5.20 NHK)

損害保険大手3グループの今年3月期の決算で、台風21号や西日本豪雨など、去年相次いだ自然災害による火災保険などの支払い金額が合わせて1.6兆円余りと過去最大規模になった。「MS&ADホールディングス」が6,550億円。「東京海上ホールディングス」が5,067億円。「SOMPOホールディングス」が4,988億円。各社によると過去最大規模とのこと。

●温暖化で猛暑日1.8倍に 気象研

(2019.5.22 産経新聞)

気象庁気象研究所と東京大気海洋研究所のチームは22日、地球温暖化により世界の平均気温が1度上昇した場合、国内で最高気温が35度以上の猛暑日の発生回数が1.8倍に増えるとの予測を発表した。水温や大気中のCO2濃度等を基に、シミュレーションを実施。年間延べ約2,500地点で報告されている猛暑日が、約4,400地点に増えることが分かった。

●鴨川のメガソーラー開発、住民ら反発

(2019.5.23 東京新聞)

鴨川市池田の山林に計画中のメガソーラーを巡り、地元住民らが反発を強めている。4月に県の開発許可が出たが、住民側は事業者から十分な説明がないとして、環境破壊を懸念する。広範囲の森林が伐採されるため、環境破壊を懸念する反対住民が、18年3月に「鴨川の山と川と海を守る会」(勝又国江代表)を結成。河川の水質悪化を危惧する鴨川漁協も呼応した。

●福島「がんと被ばく関連なし」

(2019.6.3 NHK)

福島県が原発事故当時、18歳以下だった子どもたちを対象に行っている甲状腺検査をめぐる、検査の結果を評価している専門家部会で、2巡目の検査で発見された甲状腺がんと被ばくの関連は認められないとする報告案を示した。「甲状腺がんの発現率との関連の解析においては、線量の増加に応じて発現率が上昇するといった一貫した関係は認められない」としている。

●再エネと原発でCO2削減、エネ白書

(2019.6.7 産経新聞)

政府は7日、平成30年度版エネルギー白書を閣議決定した。地球温暖化防止の枠組み「パリ協定」で日本が示した温室効果ガス排出量削減目標の達成には、排出量の約9割を占めるエネルギー起源のCO2削減が重要になると指摘。具体的な手法として、「再エネの大量導入と原子力発電の再稼働で非化石比率を高めていくことが極めて重要」と明記している。

●川内1・2号機停止へ 対テロ施設遅れ

(2019.6.14 東京新聞)

九州電力の川内原発1号機(鹿児島県薩摩川内市)が来年3月に運転を停止するのが確実となったことが14日、分かった。テロ対策施設「特定重大事故等対処施設」の建設が遅れ、完成が期限に間に合わないため、特重施設の完成遅れによる原発の稼働停止は全国初となる。川内2号機も来年5月に停止し、全国で2例目になるのは確実。

●欧州議会選挙で緑の党4番目に躍進

(2019.6.15 毎日新聞)

欧州議会選で、緑の党系党派は定数751のうち75議席を獲得(11日現在)、改選前の52議席から大きく勢力を伸ばした。左右の中道勢力が初めて過半数を割る中、一定の影響力を及ぼしそうだ。緑の党躍進を報じた複数の欧州メディアはスウェーデンの環境活動家グレン・トゥーンベリさん(16)が契機になった若者たちによる抗議活動が影響したと指摘。

●再エネ法案共同提出 5野党・会派

(2019.6.15 しんぶん赤旗)

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会保障を立て直す国民会議、社民党の5野党・会派は14日、再生可能エネルギー等の推進関連法案を衆院に共同提出した。地域の創意工夫による地産地消のエネルギーを推進する分散型エネルギー利用促進法案など4法案は、野党が昨年共同提出した「原発ゼロ基本法案」の実施法として位置付けられている。

●秋田の再エネ業者が東北電を提訴

(2019.6.22 河北新報)

秋田県内に設置した太陽光発電設備を東北電力の送配電網につなぐ際に、変電所の変圧器の交換費用を負担させられたのは不当だとして、同県の発電事業者が21日、東北電に約9,800万円の損害賠償を求める訴えを仙台地裁に起こした。再生可能エネルギー発電を巡り、電力会社に工事負担金の返還を求める訴訟の提起は全国初とみられる。

●AI空調、電力4割削減に成功

(2019.6.24 神戸新聞)

神戸・三宮の地下街「さんちか」で人の流れをAIで予測し、最適な空調と省エネを実現する実証実験を神戸大等の研究グループが展開したところ、最大で4割超の電力を削減できたことが分かった。年間換算では数千万円分の空調費削減につながるという。機器類の準備に約1億円かかったが「投資額は数年以内で回収できることが分かった」という。

●ベースロード電源の新市場スタート

(2019.7.1 産経新聞)

政府は今月、発電コストが比較的安い石炭火力や原子力、大型水力などによるベースロード電源を取引する新たな電力市場を開設する。国内の年間消費量の約7%に当たる約560億kWhの電力量が比較的安価で市場に供給されるため、電気料金の低下が見込まれる。開設後は電力・ガス取引監視等委員会が価格や抛出货量などをチェックして取引の適正化を図る。

●地域新電力、21年設立へ 掛川

(2019.7.4 静岡新聞)

掛川市は地域新電力会社の設立に向けた官民組織の初会合を3日、市内で開いた。新会社は、エネルギー供給などを担うドイツの公益的な地域事業体シュタットベルケを参考にした官民出資の株式会社で、仮称「報徳エコマチ・ライフ」。会社の運営主体や資本構成、扱う電力の規模、売電先など具体的な事業モデルは、コンサルタンの調査結果を踏まえ、検討する。

●かづのパワー始動 再生エネ地産地消

(2019.7.10 秋田魁新報)

秋田県鹿角市などが出資する地域電力小売会社「かづのパワー」が17日に始動する。自治体が出資する地域電力小売会社の設立は県内初となる。地元の三菱マテリアル永田水力発電所(鹿角市八幡平、最大出力721kW)から電力を調達し、市内で販売する。販売収入を地域内で循環させることで地域活性化を図る狙いがある。

●原発再稼働「本当にベストなの？」

(2019.7.23 朝日新聞)

経団連の夏季フォーラムが先週、長野県軽井沢町のホテルで開かれた。丸紅の国分文也会長が再エネ普及を進める欧州を例に「日本は原発にどんどんコストをかけている。グローバルな方向と逆に向かっているのでは」と指摘。日本製鉄の進藤孝生会長は「エネルギーで『世界の潮流』という場合、欧州を指すことが多い。注意が必要だ」と反論した。

●福島第2原発廃炉を正式表明 東電

(2019.7.24 産経新聞)

東京電力ホールディングスの小早川智明社長は24日、福島県の内堀雅雄知事と県庁で面会し、福島第2原発(福島県楢葉町、富岡町)の全4基の廃炉を正式に表明した。東電は月末の取締役会で正式決定する。福島第1原発の全6基と合わせ、福島県内の全10基が廃炉となる。全4基の廃炉には40年以上がかかる見通しで費用として約2,800億円を見込む。

●送配電線、空き容量柔軟活用

(2019.8.1 日刊工業新聞)

東京電力ホールディングスは再生可能エネルギーの導入拡大を見据え、送配電線の系統の空き容量を柔軟に活用する仕組み「日本版コネクト&マネージ」の実現に向けた実証事業を始めた。送配電線を増強しなくても、太陽光発電などを系統に接続できるようにする。2020年3月まで、子会社の東電設計、三菱総合研究所の3社で実証する。

●東電、東通原発を共同事業に

(2019.8.8 日経新聞)

東京電力ホールディングスは建設を中断している東通原子力発電所(青森県)について中部電力等との共同で事業化し、運営に取り組み方針を固めた。地元との調整や建設、運営、保守までを一貫して担う新会社を両社と日立製作所東芝の4社で設立する調整に入った。経産省は原子力事業の再編に前向きで、新会社が事業を引き継ぐよう後押しするもようだ。

●再稼働前提に「廃炉検討」、柏崎刈羽

(2019.8.27 しんぶん赤旗)

東京電力の小早川智明社長は26日、柏崎刈羽原発(新潟県)の立地先である柏崎市の桜井市長を訪ね、同原発の廃炉要請に対して、太陽光など「十分な規模の非化石電源の確保が見通せる状況」になれば、「6・7号機の再稼働後5年以内に1基以上の廃炉を検討する」との方針を伝えた。東電が柏崎刈羽原発の廃炉に言及したのは初めて。

みんな電力

顔の見える発電所ツアー

高遠さくら発電所に行ってきました

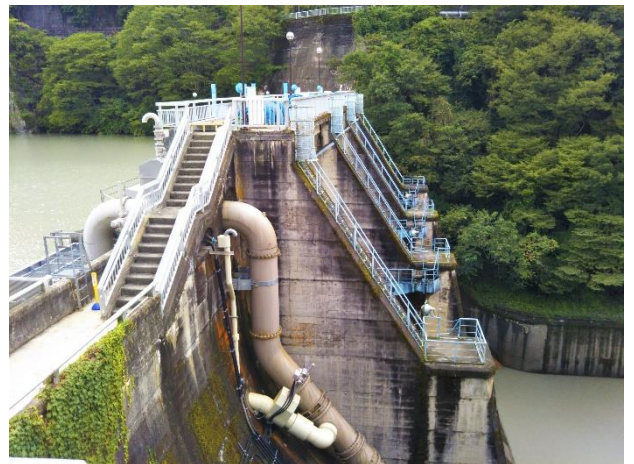
8月31日、みんな電力主催による発電所ツアーがあり、参加しました。みんな電力は、「顔の見える発電所」ということで、自然エネルギーを仕入れている各発電所を紹介し、応援するしくみを作っています。そうした発電所を知ってもらおうとツアーを開催しています。

今回向かったのは、長野県にある高遠ダムの脇に建設された「高遠さくら発電所」です。高遠は桜の名所として知られる城下町ですが、長野県企業局が高遠ダムを建設したのは1958年のことで、発電所やかんがい用水に水を供給する多目的ダムです。

2017年、高遠ダムに「高遠さくら発電所」が建設されました。ダム湖の水をサイフォンの原理で吸い上げ、最大毎秒1.10m³の水がパイプ(水圧鉄管)を通じてダム本体直下の発電所に送られ、水車を回して発電します。発電出力は199kWで、ここで発電された電力は、丸紅新電力とみんな電力によって、世田谷区にある保育園41か所で使われています。自然エネルギーの電源が少ない東京と自然エネルギーの豊かな地方との地域間連携の事例として報道されました。

ちなみに発電所ツアーは、みんな電力の顧客対象で参加費が無料ということもあり、30名定員のところ3倍の申込みがあったそうです。参加者からは、「原発の電気を買いたくないのでみんな電力に切り替えた。応援している発電所を間近に見ることができてうれしい」との声がありました。ちなみに、みんな電力に太陽光発電の電気を供給している、足温ネットの発電所「えど・そら」も見学ツアーを企画中です。ご期待ください。

(文責:山崎求博 事務局長)



高遠ダムの本体手前に取水パイプが見えます



パイプを通して落ちる水の勢いで水車が回り発電する

足温ネット活動日誌

- 6. 28 朝日新聞経済部伊藤記者から取材を受ける
- 7. 01 パタゴニア丸の内ストアと環境キャンペーン企画について打ち合わせ
- 7. 11 元気力発電所(練馬区)が、松江の家を見学に来訪
- 7. 20 市民電力連絡会・連続講座(第4回)「SDGs カードゲームで体験する 2030年のまち」(ファシリテータ:寺島義智さん=未来創造サポート 代表)に参加
- 7. 23 地域生活研究所の調査で、日本生協連「地球くらぶ」にヒアリング
●第4回運営委員会
- 7. 27 えどがわエコセンター国立極地研究所ツアー(立川)に参加
- 8. 01 パタゴニア丸の内ストアと環境キャンペーン企画について打ち合わせ
- 8. 17 板取ツアー(~19)
- 8. 29 パタゴニア丸の内ストアの環境キャンペーン企画について、東京都環境局ヒアリングに同席
- 8. 31 みんな電力・顔の見える発電所ツアー(高遠さくら発電所)に参加
- 9. 10 ●第5回運営委員会
- 10. 06 エネルギーカフェ第3弾「あの北海道ブラックアウトから1年、太陽光発電は役に立つのか?」を開催。しんぶん赤旗くらし家庭部手島記者、毎日新聞科学環境部岩崎記者が取材
- 10. 09 「須田春海さんを偲び遺志を受け継ぐ会」に出席
- 10. 19 市民電力連絡会・連続講座(第6回)「首都圏市民電力交流会・トーク&ライブ」に登壇
- 10. 23 ●第6回運営委員会

編集後記

須田春海さんを偲び遺志を受け継ぐ会に出席してきた。須田さんは「市民運動全国センター」代表として、抵抗型だった市民運動を政策づくりの主導的存在に育てることで、社会の変革をめざした。センターには、社会変革をめざす若者たちが集まり、須田さんの薫陶を受けて社会に巣立っていった。足温ネットの活動の広がりと共に、自分も出入りするようになったが、顔を出す度に、大きな椅子に座った須田さんから「よお、青年」と必ず声をかけられた。覚えてくれる事がうれしかった。今度は私たちが動く番だ。合掌(M・Y)